

形成外科は身体の表面を外科的に治療する分野です。例えば、先天的に唇や口蓋部に裂け目が現れる「唇裂口蓋裂」には、大学病院では耳鼻科、矯正歯科、小児科などと連携し、口唇や鼻の美しい形態、かみ合わせや発声などの良好な機能を考えながら治療します。乳がん切除後の乳房再建は、乳腺外科と連絡し



徳島大学病院形成外科・美容外科

橋本 一郎 教授

ながら形態にこだわった手術を行います。最近では乳がん切除後の再建にシリコンインプラントの保険使用が認められ、自分の組織を移植する方法と合わせて乳房再建に選択肢が増えました。

糖尿病にかかる方が増えていますが、糖尿病は神経や血管の障害を及ぼし、足にさまざまな病変が現れます。普段は糖尿病外来でフットケアを受けることが大切ですが、たが治らない、腫れや赤みが出るなどの症状がある場合には特に注意が必要です。徳島大学病院形成外科では、靴の中敷きを作成したり、装具

としての靴を作成することで糖尿病足病変の悪化を防止していきます。また、足に潰瘍ができた場合でも、大きな足切断をできるだけ避けるため、循環器内科や血管外科、神経内科と綿密な連携をとり、慎重な手術を行うように努めています。

形成外科 アンチエイジングもサポート

また当科では、美容センターを設けて抗加齢美容に関する自費診療を行っています。顔全体のアンチエイジングにはフォトフェイシャル（IPL光治療）を勧め、肌の新陳代謝を活性化させることで、しわ

・たるみに対する予防的効果も期待できます。しみは数種類に分類ができますが、それぞれ治療法が異なるため、適切な診断が不可欠です。スキンケアの指導から治療まで一貫して行っています。加齢性いぼの治療には、最新の炭酸ガスレーザーを用いており、にきび痕などの傷痕にも応用しています。また、眉間やほぐれい線の深いしわには、ボトックスやヒアルロン酸による治療も可能です。アンチエイジ

ングで若々しい生活をサポートするのも形成外科の大切な役割の一つです。